

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和8年3月2日～令和8年3月31日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
1	JIS	制定		土工機械—火災予防指針	Earth-moving machinery—Fire prevention guidance	この規格は、JIS A 8308で定義している土工機械の、機械設計及び運転・保守の指示を通じて、意図した用途における火災リスクの低減を考慮するための保護方策の指針を規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・火災の危険 ・リスクアセスメント及びリスク低減のための方法論 ・消化リスク低減のための設計上の手引き ・使用上の情報		ISO 13649:2024 Earth-moving machinery — Fire prevention guidance(IDT)	一般社団法人日本建設機械施工協会 一般財団法人日本規格協会
2	JIS	制定		小容量吸収製品の吸水量試験方法	Test method for urine absorption of light incontinence products	この規格は、小容量の尿を吸収する製品の吸水量試験法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・原理 ・試験環境 ・繰返し滴下吸水量試験方法 ・加圧脱水吸水量試験方法 ・製品への吸水量表示方法 ・試験結果の記載			一般社団法人日本衛生材料工業連合会 一般財団法人日本規格協会
3	JIS	制定		電子商取引における取引の信頼性確保—オンライン紛争解決サービスの提供に関する手引	Transaction assurance in E-commerce — Guidance for offering online dispute resolution services	この規格は、電子商取引におけるオンライン紛争解決(ODR)について、独自のODRサービスの開発を目指す電子商取引事業者(電子商取引プラットフォーム事業者を含む)及び電子商取引事業者が委託するODRプロバイダに対し、ODRの基本原則、技術的推奨事項及び運用マニュアルを含む手引きである。	主な規定項目は、次のとおり。 ・適用範囲 ・引用規格 ・用語及び定義 ・基本原則 ・技術的推奨事項 ・運用マニュアル		ISO 32122:2025 Transaction assurance in E-commerce — Guidance for offering online dispute resolution services(IDT)	一般社団法人日本ODR協会 一般財団法人日本規格協会
4	JIS	改正	A0207	地盤工学用語	Technical terms for geotechnical engineering	この規格は、地盤工学に関する主な用語及び定義について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・分類において、地盤工学が扱う範囲の拡張を踏まえ、「地盤環境」を追加し、用語として「廃棄物処分場」、「(廃棄物処分場の)遮水工」、「高分子系遮水シート」、「放射性廃棄物」、「溶出試験」、「(建設)発生土」及び「(地盤の)陥没」を新たに定義する。 ・土の分類において、分類に際して重要なため、「泥炭」、「黒泥」、「廃棄物」、「改良土」、「特殊土」、「まさ土」、「関東ローム」、「しらす」、「中間土」及び「粒径」を追加する。 ・地盤材料の物理的性質・化学的性質の分類において、性質の評価に際して重要なため、「活性度」、「粘土鉱物」、「年代効果」、「コラプス」及び「水浸沈下」を追加する。 ・地盤調査及び計測の分類において、市場における使用実態を踏まえ、「スライム」の定義を修正し、「カッティングス」及び「掘削流体」を追加する。 ・土工の分類において、工事の区分に際して重要なため、「盛土」、「切土」を追加する。また、地盤材料の物理的性質・化学的性質に分類されている用語のうち、「最大乾燥密度」、「最適含水比」及び「空気間隙率」は土工に係わる用語であることから、土工に分類するよう改める。 ・地盤改良の分類において、材料の分類に際して重要なため、「ジオシメンティックス」及び「ジオテキスタイル」を追加する。			公益社団法人地盤工学会 一般財団法人日本規格協会
5	JIS	改正	A6022	ストレッチアスファルトルーフィングフェルト	Stretchy asphalt roofing felts(Synthetic fiber base)	この規格は、防水工事、防湿工事などに用いるストレッチアスファルトルーフィングフェルトについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格であるJIS K 6257(加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—熱老化特性の求め方)の改正によって、試験装置を規定する箇所が変更されたため、7.5.1(試験機器)で引用する箇条を変更する。 ・数値の丸め方の記述が不明瞭であるため、関連する手順を適切な規定に改める。 ・関連規格で規定している“取扱い上の注意事項”をこの規格でも規定するよう改める。 ・以上、関連規格(JIS A 6005、JIS A 6012、JIS A 6013、JIS A 6023)と統一した改正を行う。			一般社団法人日本防水材料協会 一般財団法人日本規格協会
6	JIS	改正	B6402	機械プレス—精度等級及び精度検査	Mechanical presses — Testing of the grades and the accuracy	この規格は、一般用の機械プレスのうち、金属材料の打抜き、曲げ、成形及び絞り加工に用いる単動クランクプレス及び単動クランクプレスの精度等級及び精度検査について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格の参考文献への移行などの見直しを行う。 ・精度検査の一般(4.2.1)では無負荷の状態としているが、連結部上下の総合すきまの精度検査(4.2.5)では負荷を与えているので、条件を見直す。 ・ボルスタ上面及びスライド下面の真直度の精度検査(4.2.2)及びスライドの上下運動とボルスタ上面とボルスタ上面との直角度の精度検査(4.2.4)において、ダイヤルゲージの読みの“最大差”を読み“最大値と最小値との差”に修正する。 ・スライドの上下運動とボルスタ上面とボルスタ上面との直角度の精度検査(4.2.4)において、ダイヤルゲージでの測定箇所が不明であるので、明確に規定する。			一般社団法人日本鍛圧機械工業会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和8年3月2日～令和8年3月31日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
7	JIS	改正	B6403	液圧プレス—精度等級及び精度検査	Hydraulic presses—Testing of the grades and the accuracy	この規格は、金属材料の打抜き、曲げ、成形、絞り加工などに用いる液圧プレスの精度等級及び精度検査について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・引用規格の参考文献への移行などの見直しを行う。 ・ボルスタ上面及びスライド下面の真直度の精度検査(4.2.2)及びスライドの上下運動とボルスタ上面とボルスタ上面との直角度の精度検査(4.2.4)において、ダイヤルゲージの読みの“最大差”を読み“最大値と最小値との差”に修正する。 ・スライドの上下運動とボルスタ上面とボルスタ上面との直角度の精度検査(4.2.4)において、ダイヤルゲージでの測定箇所が不明であるので、明確に規定する。 ・偏心支持によるスライド下面とボルスタ(又はベッド)上面との傾斜度の精度検査(4.2.5)において、アウトスライドの場合はどの2点に支え棒を立て、どの2点でボルスタ(又はベッド)上面とスライド下面との間隔を測定するかが不明確であり、これを明確に規定する。			一般社団法人日本鍛圧機械工業会	一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	B7285	眼鏡フレーム—基本的要求事項及びその試験方法	Spectacle frames—Requirements and test methods	この規格は、処方箋レンズを組み込んで使用する眼鏡フレームのうち、レンズを組み込む前のフレームに関する基本的要求事項及びそれらの試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・適用範囲において、技術の進展によって製造可能となった3Dプリンタによる積層造形製の眼鏡フレーム、通常の眼鏡フレームのほかリム付きクリップオン、処方箋レンズ用インサートを追加する。 ・用語及び定義において、ニッケルアレルギーを発生させない眼鏡フレームとして「チタンフレーム」などの用語及び定義を追加する。 ・構造において、クリップオンなどを眼鏡フレームに取付けるときに磁石を使用する場合、磁石と補聴器などの医療機器との干渉がないこと、子供が誤飲しないことの危険性の確認について注記として記載する。また、眼鏡を正しい位置に保持するヘッドバンドによる窒息の危険性がないこと等の要求事項について注記として記載する。 ・試験方法において、規格の使用者が誤解しないように、試験装置について細分化し、詳細な規定を追加する。 ・試験手順について、使用者が試験実施に際して失敗がないように細かく規定する。 ・附属書Bにおいて、健康に有害となる可能性のある化学物質を製造業者に注意喚起するために、これらの化学物質のリストを作成する。		ISO 12870:2024,Ophthalmic optics—Spectacle frames—Requirements and test methods(MOD)	福井県眼鏡工業組合	一般財団法人日本規格協会
9	JIS	改正	B8329-1	真空技術—真空ポンプの性能試験方法—第1部:共通試験方法	Vacuum technology—Standard methods for measuring vacuum-pump performance—Part 1: General description	この規格は、真空ポンプの排気速度、試験到達圧力、圧縮比及び臨界背圧の測定方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義において、圧縮比について、ISO改訂により式が修正されたことによる変更を行う。 ・記号の定義及び単位において、テストドームの気体導入配管径を追加する。 ・流量計を用いる排気速度測定方法のテストドーム(図1)において、気体導入の配管径を0.1Dに指定していたが、ISO改訂により変更されたため、削除する。 ・流量計を用いる排気速度測定方法での測定装置(図2)において、気体導入への流量計の配置がISO改訂により修正されたため、変更する。		ISO 21360-1:2020,Vacuum technology—Standard methods for measuring vacuum-pump performance—Part 1: General description(MOD)	公益社団法人日本表面真空学会	一般財団法人日本規格協会
10	JIS	改正	B8329-2	真空技術—真空ポンプの性能試験方法—第2部:容積移送式真空ポンプの試験方法	Vacuum technology—Standard methods for measuring vacuum-pump performance—Part 2: Positive displacement vacuum pumps	この規格は、容積移送式真空ポンプの排気速度、試験到達圧力、許容水蒸気圧、消費電力及び最低起動温度の試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義において、評価基準の明確化のため、水蒸気容量にテストレポートに関する推奨事項を追加する。 ・許容水蒸気圧の測定において、対応国際規格の改訂により評価式を修正する。		ISO 21360-2:2020,Vacuum technology—Standard methods for measuring vacuum-pump performance—Part 2: Positive displacement vacuum pumps(MOD)	公益社団法人日本表面真空学会	一般財団法人日本規格協会
11	JIS	改正	Z1651	非危険物用フレキシブルコンテナ	Flexible intermediate bulk containers(FIBCs) for non-dangerous goods	この規格は、非危険物の粉粒状貨物の輸送に用いるフレキシブルコンテナについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・リサイクル材料についての規定を追加する。 ・静電気保護フレキシブルコンテナバックについての規定を追加する。 ・耐候性試験で、UVB法の照射+結露の合計試験時間を300時間に変更する。 ・他の耐候性試験方法であるサンシャインカーボンアーク灯式及びキセノンアークランプ式の試験条件を今回改正するUVB法に併せて設定する。 ・積重ね試験で、積重ね安全係数を2に変更する。		ISO 21898:2024,Packaging—Flexible intermediate bulk containers(FIBCs) for non-dangerous goods(MOD)	日本フレキシブルコンテナ工業会	一般財団法人日本規格協会